



こんにちは、 日本共産党 井上けんじです

日本共産党南地区委員会 5371-9164 自宅 5(FAX 兼用) 6 9 1 - 3 3 2 3
日本共産党京都市会議員団 5 2 2 2 - 3 7 2 8 FAX 211-2130 '14年 6月 1日号
市会議員団ホームページ <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/cpgkyoto/> E-mail cpgkyoto@mbox.kyoto-inet.or.jp

5月23日、100回目の「キンカン」行動。毎週キン曜日に、カン西電力周辺で「原発ゼロ」をめざすパレードや宣伝が粘り強く続けられています。東京でも、京都と呼応し、毎週金曜日、首相カン邸前での「キンカン」行動が取り組まれています。

今回は、100回目と、福井地裁判決直後という画期的なキンカン行動となりました。



福井地方裁判所が画期的判決 「大飯原発の再稼働は認めない」 市長も原発ゼロの立場に立つべき

市長の言う「中長期」は際限のない先送り

5月21日、福井地方裁判所が「(京都府の隣にある)大飯原発の運転再開は認めない」との判決を言い渡しました。住民の訴えに応えたもので、画期的な内容です。関西電力は判決に出席もせず、翌日直ちに控訴という不誠実な対応です。

※ ※
原発や環境分野について、井上議員の議会での質問を紹介します。
●(質問)判決を受け止める、市長として「再稼働するな、原発ゼロ」を表

明すべき。

○答弁↓まだ判決文を読んでいる。

●格調高く「最高の価値を持つ人格権を放射性物質から守るといふ観点から見ると、大飯原発の技術及び設備は万全ではないという疑いが残る：」等々とうたっている。市長は「中長期的に、原発に依存しない社会を」との方針だが、その中長期とは何年後のことか。
○可能な限り早期に。
●答えになっていない。人生でも勉強でも温暖化対策でも原発でも、目標

様々な分野で市政を質す

他の分野での井上議員の質問を紹介します。
●剪定枝などバイオエネルギーの各分野毎の目標をもって、研究・普及に取り組みべし。
○バイオ都市構想を創って頑張る。
●市が消費者教育について「悪徳商法にだまされないように」と呼びかけているが、もっと広く、独占価格や附合契約(電気やガスのように、消費者が売り手を事実上選べない契約)等、社会問題

として捉え、消費者の権利を守っていくべきだ。
○幅広く消費者教育に取り組んでいく。
●国が、各自治体の住民税の一部を、国の税金として集めると言っているが、今回の市税条例の改正案は、これに追随したものだ。市の減収分は？
○46億円減るが、そのうち、34億は戻ってくる。
●12億はどうなる。
○分からない。
●市の収入が減るおそれがあるのに、市長は国言

5月26日、日本共産党京都府委員会と市会議員団とで、労働基準局や京都総評・連合等労働組合等に申し入れ。井上議員も一員として参加しました。政府が、労働者の雇用をますます不安定にする「労働者派遣法改悪案」を提案していますが、ご一緒に、これに反対しましょうと呼びかけました。



5月25日、南区壮大会に参加させて頂きました。スタッフの皆さん、有り難うございました。



いなりだ。
○国にも言っている。
●腰が座っていない。市の収入が減らされようとしているのに追随し、一方で、市民に「お金がない」と言うのはダメだ。
最近の相談から
◎地代の値上げ↓弁護士に相談、同行。
◎入院費用が大変↓限度額認定証を発行してもらって、至急、病院へ提出。